

相談ネットワーク通信

2025. 8. 29(金)

子育て・教育なんでも相談ネットワーク

No.132

700-0822 岡山市北区表町1-4-64 上之町ビル3F

TEL・FAX 086-226-0110 Eメール: soudan-net@vivid.ocn.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.soudan-net.sakura.ne.jp>

「あんぱん」と「たまるか!」の二つ

相談員

山本 和弘

NHK朝ドラ「あんぱん」が注目されます。

女教師として、戦地の兵隊さん達への「慰問袋」づくりを子どもたちと取り組んだ女主人公のぶは、新聞に「軍国の鑑」と取り上げられ、周囲の人々からもそうした生き方が求められたのですが、敗戦に至って深い後悔にとらわれます。終戦から五カ月、国民学校ではGHQの指導のもと軍国主義教育からの転換がすすめられます。のぶは、教室の子どもたちに「みんなも知っちゃうとおり、日本は戦争に負けました。先生はみんなあに間違えたことを教えてきました。先生は、間違っていました。ごめんなさい」と頭を下げ、言葉を継ぐことができませぬ。

のぶは、教職を辞したことを病床の夫若松次郎に打ち明け、「子どもらあに間違えたことを教えてきました。日本は必ず勝ちますと

男の子には立派な兵隊さんになつて、お国のために頑張らなさいと」「うちはもう教壇に立つ資格はないと思うたがです」と自分を責めるのでした。(第61話)

失職・休職状態が続いていたのぶは、偶然、闇市で渡された「高知新報」東海林の名刺を頼りに、社を訪ね、入社試験を受けてみる成り行きに。採用面接で、志望動機を尋ねられたのぶは、自身が「愛国の鑑」と呼ばれていたことに触れながら、「私は、子どもたちに立派な兵隊さんになれと説き、何人もの教え子たちを戦争に仕向けてしまいました。純粋な子どもたちに間違った教育をしました。ですから、もう二度と教壇に立つ資格はないと思ひ、辞職しました」

一世の中がガラリと変わり、自分の価値観もひっくり返りました」「私が信じていた正義は、間違っていました。やき、今度こそ間違

えんように、周りに流されず、自分の目で見極め、自分の頭で考え、ひっくり返らん、確かなものを、つかみたいがです。今の私には、それだけしか言えませぬ」と答えます。

面接後、いったんは思想的に問題がある人物として、除外されかけますが、東海林は、「彼女は、今の女性たちの代表だというてもええ。戦時下の教育で、多くの純粋な女の子たちが軍国少女となり、敗戦で、自分たちの信じてたものが、いや、自分自身を墨で塗り潰されたがです!みんな、彼女と同じように打ちのめされ、彼女と同じような思いを抱えて生きてます。世の中も、俺も、あんたらも!変わらんといかんがじゃないですか!責任は俺が持ちます」と主張して採用が決定。のぶに「編集局は人手不足で猫の手も借りたくらいながら、猫の手として採用する」

た。
96年当時、山原さんが「高知民報」紙上に連載していた「さるとび日記」には同年7月21日、香北町にオープンしたアンパンマンミュージアムの開館式で50年ぶりに山原さんとやなせさんが再会したこと、8月4日「まんが甲子園」の審査で高知にいたやなせさんと山原さんが高知市内で対談して色紙を交換したことなどが記されています。

対談での、やなせさんの発言の一部を紹介します。強い非戦の思いが伝わってきます。

「僕は本当に戦争が嫌いです。正義の戦争と思っただけですが、それがたいへんな間違いだっただけで後で分かった。戦争はどんな理由があってもやっつけられない」

「正義というのは何かやっつけてしまうことじゃない。もっと簡単なこと。つまり、今困っている人を助ける。アンパンマンは飢えている人を見て自分の顔をあげる。それくらいしかできない。(略)それが正義だと思う」

「弟は特攻部隊で戦死した。無駄死にです。戦争はとにかくよくない。本当に骨身にしました」。

「新しい戦前」への歩みを強める昨今の世の中の動きを、竹本さん、やなせさん、山原さんが、空の上から「たまるか」と嘆か

ずともすむように、今こそ私たちは、「不戦を誓ったわが国の歩むべき大道」を踏み固めねばなりませんまい。

やまもと かずひろ

本当の豊かさとは

中山 芳樹

現代の日本人の本当の豊かさとはどういうものであろうか。「お金のある時間貧乏よりお金はなくても時間富豪のほうがよい」そこで次のような統計資料がある。日本とドイツの余暇時間の比較である。日本人は二、八時間。

それに比べてドイツ人はその倍近くの四、六時間である。昨今「ワーキングバランス」ということも言われているが、そう簡単にはいかない。もちろん、労働時間にしても日本は八時間労働さえきちんと守られているところはあまりない。とりわけ、教員等は超時間労働で今問題となっている。

表面だけの豊かさで、ゆとりと思いやりの喪失。暉峻淑子氏は、著書の中で「豊かさへの道を踏み間違えた日本人」とも述べている。最近養老孟子氏

の「唯脳論」にはまっているが、「脳は脳のことを知らなければならぬ」木や昆虫や動物と共に生きていることを忘れかけていると。

生活がいくら豊かになっても、心(精神)の豊かさを忘れてはならない。そのために今一度、「脳」と「心(精神)」と「身体」の関連性に着目してみる必要があるのではなからうか。また、「自由」と「労働」についても再考してみる必要があるのではないか。わたしたちの周りにはいろいろな課題があるが、必ずや人間の知恵で解決できるものと信じている。

なかやま よしき

2025年度すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める署名

全国教育署名のお願い

今年も「ゆきとどいた教育をもとめる岡山県民の会」から、協力依頼がありました。趣旨に賛同し、取り組みに協力します。会員様におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

署名の請願・陳情先も、衆・参議院議長あて、岡山県議会議長あて、岡山市議会議長あてになっていますので、それぞれにご協力ください。

※ 署名欄がすべて埋まらなくてもかまいません。

※ 署名の送付先

700-0822

岡山市北区表町一丁目4-64 上之町ビル3F

子育て・教育なんでも相談ネットワーク

※ 岡山市の陳情締め切りが早くなっていますので、10月末くらいまでに届けてください。

8月2日（土）にゆきとどいた教育をもとめる岡山県民の会主催で、「2025年度のスタート集会」が開かれました。記念の講演は、スウェーデンの高校で先生をされていた平野由輝子さんが「楽しかったスウェーデンでの教員生活と日本の教育」という内容のお話をされました（対話型のお話でした）。日本の学校しか見たことがない私たちは、これが普通かなと思ってしまいます。少人数、部活動がないことで、ゆとりがあるので生徒の話もたくさん聞いてあげられる。教師と生徒の距離感がとても近いこと。教育費は大学生や職業訓練、移民の語学研修費まで無償。「社会保障が充実しているけど、消費税が高いのでは？」対話型なので話の途中にこんな質問しても「タバコや車は贅沢品だから消費税はとても高いけれど、生鮮食料品は必需品だから低率だ。普通の生活はしやすいと。」対応していただきました。長く生活していた方から直接聞くと、驚くことばかりでした。スウェーデンでできることは日本でもできる！希望をもとうと参加者が締めくくりました。

「ゆきとどいた教育を求める署名活動」という私たちの長い取り組みの中で、小学校6年生まで35人数学級が実現したり、教室にエアコンが設置されたり、自治体単位ではありますが給食費の無償化が進んだり、変化は起こっています。

署名用紙を1枚同封させていただいています。みな様のご協力よろしく申し上げます。

私たちの願いを、一筆一筆の署名に積みあげ、議会に届けましょう。

子育て・教育なんでも相談ネットワーク

相談状況

2024年7月1日～2025年6月30日

相談内容	2024年度	比率(%)	前年度	比率(%)
不登校・ひきこもり	8	8.3%	7	13.7%
学校ストレス				
友人関係				
職場ストレス	3	3.1%	1	2.0%
家庭ストレス	22	22.9%	25	49.0%
心身の健康	41	42.7%	8	15.7%
発達障害	8	8.3%		
情報提供	7	7.3%	5	9.8%
その他	7	7.3%	5	9.8%
累計	96	100%	51	100%

2025年度 相談担当

月 秋山 大谷（午前）
火 衣笠（午前） 田中 福田（午後）
水 山本 中山 花田 加戸（午後）
木 正保 秋山
金 小椋 福田（午後）
土 福田（午後）

月～金10:00～16:00 土13:00～16:00

難波一夫相談員は、顧問となります。

- ・この時間以外でも相談に応じることは可能です
- ・相談は、電話・面談どちらでもできます

なお、面談や時間外を希望される方は、事前にお知らせください

